

一般財団法人 滋賀県民間社会福祉事業職員共済会  
地域共生型社会推進事業助成金

## 事業完了報告書（公開用）

### 1、概要

報告日	平成 27 年 4 月 30 日
報告者	杉立 隆一
助成団体名 (所属団体名)	石山団地の「共に生きるまちづくり」委員会
団体住所	〒 520-0861 滋賀 都道府県 大津市平津二丁目4番9号
団体電話番号	077 - 537 - 0046
代表者 (助成対象者)	世話役 杉本 正光
助成対象事業	高齢化の進む石山団地の「共に生きるまちづくり」推進事業
事業（助成）期間	平成 26 年 4 月 ~ 平成 27 年 3 月
事業費総額	860,493 円
助成金総額	860,493 円

※住所・電話番号等は団体のものを記載し、個人情報に関わることは記載しないでください。

次ページ以降に「事業内容」、「事業成果」、「今後の課題など」を簡潔に記載してください。

#### 注意事項

- ①共済会ホームページに掲載しますので**個人情報の掲載は禁止**します。
- ②「事業内容」、「事業成果」、「今後の課題など」は**合計5ページ以内**で作成してください。
- ③**写真の掲載は原則禁止**しますが、どうしても必要な場合は最小限度に留めてください。
- ④写真を掲載される場合は**必ず撮影対象の方に事前に了承を頂く**ようお願いします。
- ⑤必ず Word ファイルのまま [shigakyo@cello.ocn.ne.jp](mailto:shigakyo@cello.ocn.ne.jp) へメールにてお送りください。

## 2、事業内容

### ○これまでの経過

高齢化が進む石山学区の現状について、「何かできないものか」と、一昨年7月、地域の社会福祉法人湘南学園と地元自治会関係団体で「共同プロジェクト」を立ち上げました。9月には地域民生委員・児童委員を中心に、「ワーキングチーム」を組織し、石山団地在住の65歳以上の方を対象にした「実態調査」を行ってきました。昨年4月には、湘南学園創立110周年記念式典において、地域に向けた実態報告会を行い、調査結果の情報共有をしました。更に6月には、「地域の課題は地域に住む人々たちによる新たな相互の支えあい、地域における助け合いのまちづくりが必要である」として、これまでの共同プロジェクトの進化形として、「石山団地の“共に生きるまちづくり”委員会（通称：共まち委員会）」を設置し、同推進事業を検討・実施してきました。

### ○事業の柱

#### ■石山団地の“共に生きるまちづくり”委員会の設置

##### ●設置目的

- ・同事業の円滑な推進のため、その核となる委員会を設置・運営する。
- ・地域のニーズを直に把握し、これからのまちづくりを考えていく。

##### ●構成メンバー／13人

##### ●期待される成果・効果

- ・「石山団地の実態調査」で明らかになったデータを基に、具体的プランの作成、具体的取り組みの進捗状況確認等、企画・戦略的な議論がもてる。
- ・学識経験者を迎えることで、事業の客観性、学術的見地からの検証ができる。

#### ■共まちサロンの設置・運営

##### ●設置目的

- ・実態調査により、「今不便に感じていること」についての情報を収集したが、その具的改善に向けては、まだまだこれから。まずは石山団地内にサロン（拠点事業）を設置することで、その第一歩とする。

##### ●運営構想

- ・開催時期…準備期間を経て、9月から、週1回のペースで開催
- ・開催場所…団地内2～3か所（自治会館等検討中）、延べ30回を予定
- ・事業内容…カフェ、レクリエーション、趣味・娯楽等
- ・スタッフ…2名程度（有償ボランティア）

##### ●期待される成果・効果

- ・サロン（拠点事業）を行うことで、より具体的な声を収集することができる。
- ・サロンを利用される人を通じて、「共に生きるまちづくり」に向けた「人材の発掘（ボランティア）」に期待できる。

## ■ 共まち診療所づくりプロジェクトの設置・検討

### ● 設置目的

- ・以前団地内に、医科 3、歯科 1 の病院があったが、現在歯科 1 のみである。団地在住の高齢者にとって、通院はいずれも困難な状況である。そこで団地内に診療所を設置することで、身近な医療機関としての役割を目指す。

### ● 検討ポイント

- ・医療体制…ハード（場所・設備・資金面）・ソフト（スタッフ）
- ・場所確保…空き家等、調査・検討
- ・資金計画

### ● 期待される成果・効果

- ・対症療法としての役割だけでなく、予防医療の身近な診療所として、住民の健康面での安心・安全に期待できる。
- ・身近に設置することで、通院に関する移動手段が、幾分改善される。

## ■ その他地域の実情に合わせた具体的展開

### ● イメージ

- ・買い物、食事、お話し相手、草刈り等々、実態調査で収集した話題と、サロンの展開で新たにキャッチする声を切り口に、委員会を検討し、その具体化を目指す。

### ● 検討のポイント

- ・人材確保…ボランティアの発掘・育成
- ・研修計画…共に生きるまちづくりの展開をテーマに、先進的研修を実施。
- ・広報活動…まちづくりの新たなモデル事業として、一般紙情報提供、独自広報、共まち委員～各関係者～地域等を媒介に情報提供を行う。
- ・資金計画…共生社会実現に向けた助成事業等、各種情報を収集し、エントリーすることで連携を取っていく。

### ● 期待される成果・効果

- ・先進地研修を行うことで、新たな発見、横のつながりを持つことができる。
- ・「共に生きるまちづくり」の取り組みを報せる（広報する）ことで、広く情報を収集（広聴）することができ、今後の取り組みの貴重な情報となる。

### 3、事業成果

#### ■石山団地の“共に生きるまちづくり”委員会の設置

##### ●会議の開催／前述メンバーにより月1回定例開催（10回開催）

- ・開催日時…毎月大4火曜日 16:00～18:00
- ・開催場所…湘南学園フロントホール

##### ●会議の内容

- ・報告事項…同推進事業の進捗状況の報告・確認・協議  
共まちサロンの設置・運営  
共まち診療所つくりプロジェクトの設置・運営  
共まち新聞  
先進地研修  
100円バス要望活動
- ・協議事項…今後の予定について（方向性・出口議論）  
石山団地医療・保健・福祉センター構想

##### ●その他の実績・成果

- ・同委員会設置規定を作成
- ・参加人数…延べ110人／130人（出席率84.6%）
- ・学識経験者を迎えたことで、議論に幅ができた。地元委員にとっても心強い存在となった。

#### ■共まちサロンの設置・運営

##### ●サロンの開催

- ・開催日時／毎月第3木曜日 13:30～15:30 ※3回実施（1月、2月、3月）  
1月15日 参加者46名、スタッフ9名  
2月20日 参加者62名、スタッフ10名  
3月20日 参加者37名、スタッフ11名
- ・開催場所／大平山県営団地自治会館
- ・事業内容／①共まちサロン（茶話会）  
②共まち市（物販販売）  
③共まち健康相談他

##### ●その他の実績・成果

- ・当初の構想とは、開催時期・回数が大きく異なる結果となった。
- ・事前準備に時間がかかった（実態調査・検討会）が、共まちサロン推進チームにより、充実した取り組みができた。
- ・年明けの3回の開催となったが、毎回平均40人超の方が参加。団地内で一番大きな会館だったが、常に満員状態だった。
- ・有償ボランティアとして、地元在住の方を中心に着々とした進展を感じる。

## ■共まち診療所づくりプロジェクトの設置・検討

### ●情報収集

- ・事業内容としては、大きなテーマゆえ、情報収集に絞った1年だった。
  - ・大津市（数回）、滋賀県（数回）、内閣府（1回）を表敬訪問し情報収集
- 平成 26 年 09 月 11 日（木） 滋賀県知事訪問  
平成 26 年 10 月 14 日（火） 大津市健康福祉部長寿政策課訪問  
平成 26 年 11 月 18 日（火） 大津市副市長訪問  
平成 27 年 02 月 05 日（水） 内閣府訪問

### ●その他実績・成果

- ・情報収集をする一方、同事業の出口議論も必要として、（仮称）石山団地医療・保健・福祉センター構想（石山団地共まちセンター）の検討を始める。

## ■その他地域の実情に合わせた具体的展開

### ●実態調査報告書

- ・前年度作成の資料（石山団地在住の方に関する実態調査報告書/A4 版 36 項カラー刷）を、説明資料として作成。
- ・作成部数…100 部

### ●共まち新聞

- ・石山団地共まち新聞の発刊
  - ・サイズ…A3 版 2 項カラー刷
  - ・部数…3000 部
  - ・配布…石山団地内自治会（8 自治会）、関係機関他
  - ・発刊の日程/3 回発刊
- 平成 26 年 12 月 19 日（金） 石山団地共まち新聞創刊号発刊  
平成 27 年 02 月 28 日（土） 石山団地共まち新聞第 2 号発刊  
平成 27 年 03 月 31 日（火） 石山団地共まち新聞第 3 号発刊

### ●先進地研修

- ・同様のテーマのもと活動されている先進地訪問、新たな発見・気づきをする。
  - ・訪問日程・参加者人数
- 平成 26 年 08 月 18 日（月）  
寝屋川市/NPO 法人寝屋川高齢者サポートセンター（参加者 10 名）  
平成 27 年 03 月 26 日（木）  
西宮市/NPO 法人つどい場さくらちゃん（参加者 11 名）

### ●100 円バス要望活動

- ・調査時期…1 月 20 日～2 月 15 日
- ・調査対象…石山団地在住の概ね 65 歳以上の方（約 1200 人）
- ・調査方法…留め置き調査（自治会単位/会長～組長）

- 100円バス要望活動の日程

平成27年01月23日（金） 100円バス要望活動実態調査開始

平成27年02月15日（日） 100円バス要望活動実態調査終了

平成27年03月16日（月） 100円バス要望活動情報処理依頼（キシステム(株)）

平成27年03月30日（月） 100円バス要望活動情報処理終了（キシステム(株)）

- 事業実績…回収率70%

※回収率の高さから関心の高さを感じた

#### 4、今後の課題など